

DISCLOSURE 2021

# もおしん

ディスクロージャー誌

令和3年度上半期 経営情報

(令和3年9月末現在)



写真：真岡鐵道(株)SLもおか

# 経営情報 (半期情報の開示について)

地域の皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症により影響を受けられた皆さまに、謹んでお見舞い申し上げます。

ここに令和3年度上半期（令和3年4月1日～令和3年9月30日まで）における経営情報をお知らせいたします。

主要勘定は預金積金が前年度末比で 4.64%増の98,155百万円に、貸出金についても 0.93%増の49,459百万円となりました。収益面でも、役職員一丸となって収益向上に努めた結果、当期純利益80百万円の計上となりました。

自己資本比率は貸出金等の増加によりリスクアセットが増加、自己資本も当期利益の計上から増加し、前期末より0.01ポイント上昇の9.79%となりました。引き続き国内基準の4.0%を大幅に上回っており、健全な財務内容であります。

金融再生法開示債権比率は前期末より 0.03ポイント上昇し 3.27%となりました。また、担保や保証、貸倒引当金を計上しており、資産の健全性は十分に確保されております。

今後も引き続き皆さまに信頼される金融機関としてお取引いただけるよう、経営努力を続けてまいります。

## 預金・貸出金の状況

(単位:百万円)

区分	令和3年9月末	(参考)令和3年3月末
預金残高	98,155	93,796
貸出金残高	49,459	49,000

## 損益の状況

(単位:百万円)

区分	令和3年9月末
業務純益	99
実質業務純益	99
コア業務純益	83
コア業務純益 (除く投資信託解約損益)	80
経常利益	96
当期純利益	80

## 自己資本比率(国内基準)

(単位:%)

	令和3年9月末	(参考)令和3年3月末
自己資本比率	9.79	9.78

## 貸出金業種別残高・構成比

(単位:百万円、%)

業種別	令和3年9月末		(参考)令和3年3月末	
	金額	構成比	金額	構成比
製造業	2,664	5.4	2,599	5.3
農業、林業	843	1.7	810	1.7
漁業	—	—	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	—	—	—	—
建設業	6,515	13.2	6,621	13.5
電気、ガス、熱供給、水道業	6,144	12.4	5,740	11.7
情報通信業	3	0.0	5	0.0
運輸業、郵便業	1,620	3.3	1,727	3.5
卸売業、小売業	2,999	6.0	3,098	6.3
金融業、保険業	2	0.0	3	0.0
不動産業	7,328	14.8	7,325	15.0
物品賃貸業	—	—	—	—
学術研究、専門・技術サービス業	135	0.3	144	0.3
宿泊業	642	1.3	640	1.3
飲食業	534	1.1	575	1.2
生活関連サービス業、娯楽業	8	0.0	8	0.0
教育、学習支援業	138	0.3	151	0.3
医療、福祉	562	1.1	588	1.2
その他のサービス	3,600	7.3	3,356	6.8
その他の産業	486	1.0	515	1.1
小計	34,234	69.2	33,913	69.2
国・地方公共団体等	162	0.3	103	0.2
個人(住宅・消費・納税資金等)	15,062	30.5	14,984	30.6
合計	49,459	100.0	49,000	100.0

(注) 業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

## 金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額

(単位:百万円、%)

区分	債権額 (A)	担保・保証等 (B)	貸倒引当金 (C)	保全額 (D)=(B)+(C)	保全率 (D)/(A)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,154	262	892	1,154	100.0
	1,209	322	886	1,209	100.0
危険債権	179	150	14	165	91.8
	158	120	18	139	88.1
要管理債権	255	17	8	26	10.3
	251	1	6	7	2.9
金融再生法開示債権計	1,589	430	915	1,346	84.7
	1,619	444	911	1,355	83.7
正常債権	47,447				
	47,881				
合計	49,037				
	49,500				

(注) 令和3年9月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類し、以下の簡便な方法により算出しております。従って、令和3年3月末の計数とは算出方法が異なるため、計数は連続しておりません。  
(令和3年9月末の算出方法)

- 債務者区分については原則として令和3年3月末時点における自己査定による債務者区分を基準としております。ただし、4月1日から9月末までに倒産、不渡り等の客観的な事実ならびに内部格付による債務者区分の変更等のあった債務者については、当組合の定める基準に基づく債務者区分見直し後の債務者区分によっております。
- 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」の金額は、債務者区分でいう破綻先及び実質破綻先に該当する債務者に対する債権の合計です。
- 「危険債権」の金額は、債務者区分でいう破綻懸念先に該当する債務者に対する債権の合計です。
- 「要管理債権」の金額は、債務者区分でいう要注意先に該当する債務者に対する債権のうち、貸出条件を緩和している債権及び3か月以上延滞している貸出債権の合計です。
- 「正常債権」の金額は、債務者の財務状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権の合計です。

(注) 各計数は、単位未満を切り捨てて表示しておりますので、合計が一致しない場合があります。



## 損益計算書

(単位:千円)

科 目	令和3年9月末	(参考)令和3年3月末
<b>経常収益</b>	<b>623,014</b>	<b>1,192,158</b>
資金運用収益	562,095	1,100,335
貸出金利息	388,499	767,740
預け金利息	37,250	69,336
有価証券利息配当金	123,372	251,274
その他の受入利息	12,972	11,983
役務取引等収益	33,081	65,759
受入為替手数料	12,442	22,155
その他の役務収益	20,638	43,603
その他業務収益	18,276	14,648
国債等債券売却益	17,519	11,815
その他の業務収益	756	2,833
その他経常収益	9,561	11,414
貸倒引当金戻入益	9,231	7,144
償却債権取立益	111	71
その他の経常収益	218	4,198
<b>経常費用</b>	<b>526,898</b>	<b>1,036,118</b>
資金調達費用	12,953	25,905
預金利息	5,571	16,617
給付補填備金繰入額	418	2,361
借入金利息	6,889	6,805
その他の支払利息	73	120
役務取引等費用	43,214	89,337
支払為替手数料	5,958	11,683
その他の役務費用	37,255	77,653
その他業務費用	1,709	498
国債等債券売却損	55	408
国債等債券償還損	1,651	—
その他の業務費用	2	90
経費	456,293	907,132
人件費	271,359	554,603
物件費	168,503	332,935
税金	16,429	19,593
その他経常費用	12,727	13,243
その他の経常費用	12,727	13,243
<b>経常利益</b>	<b>96,116</b>	<b>156,040</b>

科 目	令和3年9月末	(参考)令和3年3月末
<b>特別利益</b>	<b>—</b>	<b>4,831</b>
固定資産処分益	—	4,742
その他の特別利益	—	88
<b>特別損失</b>	<b>329</b>	<b>24,364</b>
固定資産処分損	329	2,842
減損損失	—	20,527
その他の特別損失	—	994
<b>税引前当期純利益</b>	<b>95,787</b>	<b>136,507</b>
法人税・住民税及び事業税	15,158	971
<b>法人税等調整額</b>	<b>—</b>	<b>11,820</b>
<b>法人税等合計</b>	<b>15,158</b>	<b>12,791</b>
<b>当期純利益</b>	<b>80,629</b>	<b>123,716</b>
<b>繰越金(当期首残高)</b>	<b>167,830</b>	<b>156,251</b>
<b>当期末処分剰余金</b>	<b>248,459</b>	<b>279,967</b>

## 金利リスク量

(単位:百万円)

IRRBB: 金利リスク			
項番		令和3年9月末	
		△EVE	△NII
1	上方パラレルシフト	1,491	74
2	下方パラレルシフト	0	0
3	スティープ化	1,366	
4	フラット化		
5	短期金利上昇		
6	短期金利低下		
7	最大値	1,491	74
8	自己資本の額	5,410	

△EVEとは金利リスクのうち、金利ショックに対する経済的価値の減少額として計測されるものを、△NIIとは金利リスクのうち、金利ショックに対する算出基準日から12ヵ月を経過する日までの間の金利収益の減少額として計測されるものです。

### △EVEについて

令和3年9月末の△EVEで計測した銀行勘定の金利リスクは、規制で定められた3つのシナリオの内、上方パラレルシフトにおいて最大となり、自己資本5,410百万円に対し最大リスク量は1,491百万円となります。

△EVEの計測値は、当組合における自己資本比率や有価証券の含み損益等、他の経営指標とのバランスを総合的に勘案し、健全性に問題のない水準にあるものと判断しております。

### (△EVE算出の前提)

流動性預金については、金利改定の平均満期は1.250年、最長満期を5年とし、流動性預金全体に占めるコア預金の割合は、金融庁が定める保守的な前提を採用しております。

固定金利貸出の期限前返済や定期預金の早期解約は考慮しておりません。

複数通貨の集計方法ですが、円金利のみを対象としております。

スプレッド及びその変動は考慮しておりません。また、内部モデルは使用しておりません。

### △NIIについて

令和3年9月末の△NIIで計測した銀行勘定のリスクは、規制で定められた2つの金利シナリオの内、上方パラレルシフトにおいて最大となり、最大リスク量は74百万円となります。

### (△NII算出の前提)

上記△EVE算出と同様の前提を用いております。

(注) 各計数は、単位未満を切り捨てて表示していますので、合計が一致しない場合があります。

# 有価証券の時価等情報

## 満期保有目的の債券

(単位:百万円)

種 類		令和3年9月末			〈参考〉令和3年3月末		
		貸借対照表計上額	時 価	差 額	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	社 債	500	510	10	500	507	7
	そ の 他	6,398	6,583	185	5,697	5,849	151
	小 計	6,898	7,094	196	6,197	6,356	158
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	社 債	—	—	—	—	—	—
	そ の 他	1,500	1,470	△ 29	1,700	1,664	△ 35
	小 計	1,500	1,470	△ 29	1,700	1,664	△ 35
合 計		8,398	8,564	166	7,897	8,020	122

- (注) 1. 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。  
 2. 「社債」は事業債です。  
 3. 上記の「その他」は外国証券です。

## その他の有価証券

(単位:百万円)

種 類		令和3年9月末			〈参考〉令和3年3月末		
		貸借対照表計上額	取得原価	差 額	貸借対照表計上額	取得原価	差 額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株 式	—	—	—	—	—	—
	債 券	13,672	13,476	195	11,745	11,579	166
	国 債	—	—	—	—	—	—
	地方債	1,495	1,472	22	1,499	1,472	26
	社 債	12,177	12,004	173	10,245	10,106	139
	そ の 他	1,568	1,538	29	1,474	1,454	20
小 計	15,241	15,015	225	13,219	13,033	186	
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株 式	121	121	—	121	121	—
	債 券	1,090	1,096	△ 5	2,776	2,795	△ 19
	国 債	—	—	—	—	—	—
	地方債	—	—	—	—	—	—
	社 債	1,090	1,096	△ 5	2,776	2,795	△ 19
	そ の 他	1,754	1,783	△ 29	1,477	1,503	△ 26
小 計	2,966	3,001	△ 34	4,374	4,420	△ 45	
合 計		18,207	18,017	190	17,594	17,453	140

- (注) 1. 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。  
 2. 「社債」には政府保証債、公社公団債、事業債が含まれます。  
 3. 上記の「その他」は外国証券と投資信託等です。

## 「経営者保証に関するガイドライン」への対応

当組合では、「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客さまからお借り入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応する態勢を整備しています。経営者保証の必要性については、お客さまとの丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等の状況を把握し、同ガイドラインの記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めています。また、どのような改善を図れば経営者保証の解除の可能性が高まるかなどを具体的に説明し、経営改善支援を行っています。

### ●「経営者保証に関するガイドライン」の活用に係る取り組み事例(令和3年度上期)

1. 主債務者及び保証人の状況、事案の背景等
・ 該当法人は収益力が高く毎期順調に利益計上しております。自己資本も厚く財務内容は良好で業績も安定推移しており、法人資産と個人資産は明確に分離されております。
2. 取り組み内容
・ 該当法人の決算状況・財務内容及び法人資産と個人資産の分離状況を勘案し、今後の取引については経営者保証を求めないこととしました。

### ●「経営者保証に関するガイドライン」の取り組み状況

	令和3年度上期
新規に無保証で融資した件数	153件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	26.70%
保証契約を解除した件数	2件
経営者保証に関するガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数(当組合をメイン金融機関として実施したものに限り)	0件

## 地域の活性化に関する取り組み状況

「しんくみ食のビジネスマッチング展」の協賛、「ものづくり企業展示・商談会」の共催を通じて取引先への参加活動を行っています。

また、平成25年9月、今後成長が見込まれる農林漁業の6次産業化へ取り組む「とちまる6次産業化成長応援ファンド」が設立され、構成機関として参加いたしました。

(注) 各計数は、単位未満を切り捨てて表示していますので、合計が一致しない場合があります。



## 取引先等への支援状況等

### ●2021しんくみ食のビジネスマッチング展

信用組合のお取引先に、新たなビジネスチャンスの創出やビジネスパートナーとの出会いの場を提供し、販路開拓・新商品開発・商品PR・販売促進等を通じて、事業の発展ならびに地域振興に繋げていただくことを目的として、本年は、新型コロナウイルス感染症対策として、展示商談支援サイトを立ち上げオンラインで令和3年10月4日(月)から11月26日(金)まで開催いたしました。

### ●ものづくり企業展示・商談会2021

地元企業の販路拡大の支援、地域経済の活性化に貢献することを目的とした、関東圏内の製造業者を一堂に招いて開催する「ものづくり企業展示・商談会2021」を、足利銀行が主催、県内信用組合、信用金庫及び栃木県と栃木県信用保証協会、栃木県中小企業団体中央会が共催し、令和3年10月27日(水)に宇都宮市のマロニエプラザ大展示場で開催いたしました。

## 地域サービスの充実

### ●もおしんインターネットバンキング、ペイジー(Pay-easy)

「もおしんインターネットバンキング」では各種取引照会、振込振替、総合振込、給与・賞与振込などに加え、「でんさいネット」もご利用になれます。セキュリティ対策も行っており、安心してご利用いただけます。また、ペイジー(Pay-easy)をご利用いただくと手数料無料で場所を選ばず簡単に税金や国民年金保険料、ネットショップでのお買い物の支払いができます。

**もおしん  
インターネットバンキング**

1.簡単  
新たな機能や機能追加を購入する  
必要がなく、インターネットに接  
続できる状況での利用が可能です。  
2.便利  
業務用だけでなく、個人様や小  
企業様様との取引、振込・振  
替、給与振込、給与・賞与振込  
が可能なため、経理業務が楽  
になります。  
3.経済的  
お振込み手数料と口座の開設に  
かかるコストを削減し、経費削減  
が図れます。  
4.安心  
ワンタイムパスワードまたは、ク  
ラウドサイン認証による利用に  
なります。

**サービス内容のご案内**

【各種取引照会】  
ご利用の口座の残高、振込振替の  
入出金履歴の照会を行うことが  
できます。  
【給与・賞与振込】  
ご振込の口座に利用が可能な、給与  
・賞与振込専用口座、給与・賞与振  
込専用口座へ振込を行うことが  
できます。  
【振込振替】  
振込振替の専用口座に利用が可  
能です。お振込み振替は、振込  
・振替の履歴を照会することが  
できます。  
【総合振込】  
振込・振替の専用口座に利用が  
可能です。お振込み振替は、振  
込・振替の履歴を照会することが  
できます。

※おしんインターネットバンキングは利用に際しては、振込に当る振込先(振込先)の振込先確認が必要です。  
※インターネットバンキングは振込専用メールセンターからの振込となります。  
※利用手数料については、個人・法人さまとの違い、振替・1日1回(隔日)振替の振込先確認の振込先確認として、  
1日1回(隔日)振替、振替専用口座への振込の振込先確認は、振込先(1日1回(隔日))となります。  
※振込手数料は、振込先(振込先)の手数料を振込先にお知らせいたします。  
※給与・賞与振込は、振込先(振込先)の手数料を振込先にお知らせいたします。

真岡信用組合

### ●国民年金基金とiDeCo(イデコ)は、

自営業、フリーランスの皆さまの国民年金に上乗せする公的な年金制度です。税制優遇を受けながら、老後の生活に備えることができます。国民年金基金は一生受け取れる終身年金が基本ですので、長い老後に備えられる年金です。iDeCo(イデコ)は自分で積み立てて、自分で育てる、公的年金への上乗せ年金です。国民年金基金、iDeCo(イデコ)への加入をご希望のお客さまは、最寄りの店舗にて加入受付を行っています。

## トピックス

### ●宇都宮商工会議所と「事業承継に係る業務連携・協力に関する覚書」を締結しました。

令和3年4月7日(水)に当組合と宇都宮商工会議所は、「事業承継に係る業務連携・協力に関する覚書」を下記の通り締結しました。

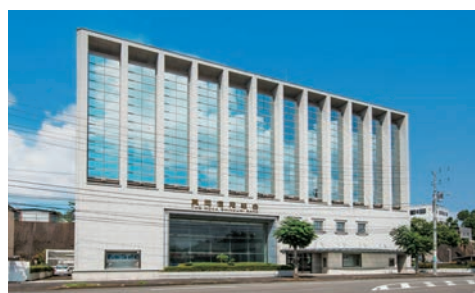
#### 【業務連携の内容】

1. 事業承継・引継ぎに関する事業者からの相談の対応
2. 事業承継・引継ぎの支援を目的とした事業者の相互の紹介
3. 事業承継・引継ぎの支援に関するノウハウの共有
4. その他付随する支援業務全般の連携



# 店舗一覧 (令和3年10月末現在)

金融機関コード：2122



## 本店営業部

店舗コード:002

〒321-4361 栃木県真岡市並木町1-13-1  
TEL.0285-82-3401 FAX.0285-84-7007  
ATM:2台



## 益子支店

店舗コード:003

〒321-4217 栃木県芳賀郡益子町益子2000-1  
TEL.0285-72-3221 FAX.0285-72-4571  
ATM:2台



## 七井支店

店舗コード:004

〒321-4104 栃木県芳賀郡益子町大沢19-1  
TEL.0285-72-2503 FAX.0285-72-6615  
ATM:2台



## 芳賀支店

店舗コード:005

〒321-3307 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井南3-8-1  
TEL.028-677-0138 FAX.028-677-3934  
ATM:2台



## 長田支店

店舗コード:006

〒321-4364 栃木県真岡市長田2-16-5  
TEL.0285-82-6311 FAX.0285-82-6882  
ATM:1台



## 荒町支店

店舗コード:007

〒321-4305 栃木県真岡市荒町1080-1  
TEL.0285-85-0800 FAX.0285-85-0805  
ATM:2台

ちかくにいるから、  
チカラになれる。

Shinkumi Bank  
 真岡信用組合

〒321-4361 栃木県真岡市並木町一丁目13番地1  
TEL : 0285-82-3496 FAX : 0285-83-5155  
ホームページ : <https://www.moka.shinkumi.jp/>